

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ワシントン大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	4,8000 円	お昼ご飯はほとんど全て外食しました。
図書費	4,800 円	自分用に英語の本を買いました。
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2,000 円	Esim で 30 日 10 ギガを使いました。回線速度も問題なかったです。
現地通学費	1,5000 円	(研修先まで 70 分) バスをよく使いました。
教養娯楽費	1,5000 円	
被服費	20,000 円	
雑費	9,300 円	
その他	5,3000 円	例: 自他含めたお土産費
その他	1,2000 円	例: カフェ系
合計	179,100 円	

渡航準備について

1) ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
無かったです。早めにやった方がいいと思います。
2) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
事前に日本で Esim を購入して使いました。とても安くて、かつ問題なく使えたので個人的におススメです。ちなみに Airalo というアプリを通して購入しました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
スリッパは個人的に必須でした。カーディガンみたいな羽織物も便利でした。ファブリーズを持っていけばよかったと後悔しました。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホームレス? に話しかけられたり、2ドルくれと言われたこともありましたが、とりあえず no と言えば大丈夫でした。 危険地域情報に関しては、ホストファミリーに聞きました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ホストファミリーの家の自分の部屋にいるときはかなり回線が悪く、よく接続が切れました。(リビングでは問題なく使えました。)

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ホストファミリーは優しくかったです、特にどこかへ一緒に出掛けることはありませんでした。また、料理はおいしいものもありましたが、合わないものもあるのではっきり伝えることが大事だと思います。シャワーは水圧が弱く、温度調整も慣れるまででこずったので少し大変です。家は少し汚いです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

発音の練習やスラングを教えてくれたのは非常に役立ちました。授業内容は配属されたクラスによって違うようです。

2) 課外プログラムについて

目的地まで集団で行って、その後各自自由行動みたいな感じでした。水族館とかにタダで入れたので入場料あるときは特にいった方がいいと思います。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

私は基本バスを使って通学、移動していました。ダウンタウンはそこそこの頻度でバスが出ますが、郊外は1時間に一本なので乗り過ごすとも待ちます。バスは遅延以外にも早着が存在するので注意した方がいいです。シアトルは治安がいい方なので身の危険は感じませんでしたが、ホームレスやドラッグをキメている人が多くいるので(特にダウンタウン)一応気をつけましょう。クレカが使えない場所は無かったです。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

漠然とアメリカに行ってみたくてという気持ちがあったので、春季で唯一、留学先がアメリカだったこのプログラムを選びました。このプログラムは午後に授業がないためとても自由度が高く、自分のやりたいことを好きにできる反面、英語の勉強や能力向上に強い目的がある人には少し物足りないかもしれません。現地の人とのコミュニケーションが全て英語という中でも、意外と何とかなんと知れたことはいい経験になりましたが、会話の時に言いたい事が英語でなかなかスムーズに出てこなかったのが日常で使いそうなフレーズはもっと覚えておけばよかったです。外食は全部おいしかったです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ワシントン大学 2023 春季
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	53700 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	19500 円	Wi-Fi レンタルと esim 合わせて
現地通学費	7500 円	(研修先まで 40分)
教養娯楽費	18240 円	
被服費	8250 円	
雑費	17320 円	
その他	420 円	例:ORCA カード購入
その他	3770 円	例: 試合鑑賞
合計	128700 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になかった。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田国際空港内で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Wi-Fi レンタルは、出発の一週間前に申し込んだ。 Esim は留学中にネットで申し込んだ。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
頻繁に手を洗えないので、除菌シートをたくさん持っていった。 家は基本土足なので、スリッパが楽で良かった。 シアトルはほぼ毎日雨だったので、防水の靴を履いていたのが良かった。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
学校の先生や友達から危険な場所を聞き、なるべく通らないようにした。一人行動を避けた。 盗難などには巻き込まれなかった。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内では学校の Wi-Fi が使えた。しかし、ホームステイ先の部屋が地下だったので、Wi-Fi が使えず不便だった。そのためレンタル Wi-Fi だけでは賄えず、後から ESIM を申し込んだ。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	ホストファミリーはマザーだけだったため、たくさんお話することができたと、ご飯が美味しくフィリピン系の方だったので毎日白米を出してくれて食事には困らなかった。 しかし水回りのルールが多く、洗濯は週に一回、シャワーは 10 分以内など気を付けることがあった。 なるべく下着などは一週間分持って行くことをおすすめするし、日本にいる間に早くシャワーを浴びる練習をしておいた方がいいと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	昨日したことなどを生徒同士英語でコミュニケーションを取る時間が設けられ、伝えることの難しさを実感できた。 また発音を中心とした授業のため、正しい発音を指摘してくれてネイティブの発音を理解できた。
2) 課外プログラムについて	シアトルの有名な場所に週に 2 回先生と学生コーディネーターの方と行き、たくさん会話したり自由に見て回ることができたりした。 参加は自由だったようだが、違うクラスの人たちと関われ、おすすめのお店など色々なことを教えてもらえて興味深かったので参加することをおすすめする。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	想像していたよりも治安が良く、危険な通りに近づかなければ身の危険を感じることはなく過ごしやすかった。 授業は午前までで、午後には自由時間があって自分たちで調べて、行きたい所にたくさん行くことができ良い経験になった。 ホームステイは大変なこともあるが、異文化を理解する良いきっかけになると思う。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

大学生のうちに留学をしたいとずっと考えていて今までアメリカに行ったことが無く、ホームステイを通じて英語に触れたいと感じたため、このプログラムに参加した。留学当初は耳が英語に慣れず、ホストファミリーの言っていることが理解できず、どうしたらいいのかわからなくなることもあった。また電車内のアナウンスを理解したり、注文したりすることが難しく、外で気を張ることも多かった。しかし、毎日の授業を通して英語を使う時間が増えたおかげで段々聞き取れるようになり、ホストファミリーとの会話も増えるようになった。基本的にホストファミリーとの会話は相手からの質問を待つのではなく、自ら話しかけて伝えることでより良好な関係を築けると思ったし、英語力の向上に繋がると感じた。外出時でも、察してくれることはほぼないので、言葉にして伝えるべきだと学んだ。生活をしていく中で、衣食住のほとんどが日本とは異なった文化で不便に思うこともあったが、こだわりすぎず受け入れることで楽しく留学生活を送れると思う。このプログラムは、比較的自由時間が多く自分の行きたい所やしたいことができるので、良い経験になると思う。留学はハードルが高いと思うかもしれないが、期間も丁度良いため迷ったらこのプログラムを選択することをおすすめする。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ワシントン大学 2023 春季
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	5080 円	SIM カード
現地通学費	20000 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	18000 円	
被服費	10000 円	
雑費	円	
その他	32000 円	例: お土産
その他	円	例:
合計	135080 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ビザは必要なかったです。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で 1 万 5 千円分両替しました その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM カードを事前にインターネットで購入しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ホームステイ先へのお土産(日本のお菓子など) 喜んでくれたので持って行って良かったです。 薬 環境が変わると体調を崩しやすくなるため、普段は風邪をひかない人でも絶対に持って行くべきだと思いました。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: 留学期間中に新型コロナウイルスに感染してしまい、ホストファミリー、親、明治大学の留学課に相談しました。) 特記事項: ホストファミリーの意向で病院には行かず、自宅療養をしました。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーに避けたほうが良い交通機関を聞いたり、実際に自分たちで観光しながら治安の悪い場所を避けたりしました。 明るい時でも基本的には一人で行動せず、17 時ごろにはダウンタウンを離れ家に帰っていました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

事前にインターネットで SIM カードを購入していたため、携帯が使えないということはありませんでした。ホームステイ先、大学にも WiFi があったため困ることもなかったです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ホームステイ先には子供が三人と、ウサギが一匹いてとても賑やかな家庭でした。フィリピン人のお母さんと中国人のお父さんだったため、アジア料理をたくさんつくってくれました。また、最初の一週間は 4 年ホームステイをしている韓国人の留学生がいたため、分からないことや学生ならではのアドバイスなど聞きやすかったです。シャワーやトイレはその留学生と共用でしたが、2 週目以降は自分一人であったため比較的自由に使えました。しかし、シャワーは 10 分以内、洗濯は週に一回であったため、そこは少し大変でした。初日にハウスルールをしっかりと確認し、少しでも不安なことがあったら何でも聞くことが大切です。積極的に自分からどんどん話しかけてコミュニケーションをとるようにすると楽しめると思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

最終評価のために 2~4 人のグループでそれぞれテーマを決めたプレゼンテーション情報を集めるために、現地の人にインタビューをしました。普段はネイティブの先生による発音の練習や、アメリカのダジャレ、通貨の数え方を学んだり、映画を見たりと楽しみながら英語を学ぶことができました。郊外学習もあり、シアトル図書館や公園、博物館に行ったりもしました。

2) 課外プログラムについて

午後に週二回の課外プログラムがありましたが、現地の学生が数名いたため、おすすめのお店などを聞いたりして英語で交流ができました。大学から現地までみんなで行き、着いたら自由に行動できるという感じでした。シアトルの名所を観光できてよかったです。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

シアトルに気候は雨が多く、気温も日本とあまり変わらないため防寒対策が必須でした。現地の人は皆傘を差さないのがフード付きのコートを持って行くといいと思います。大学周辺は、少し外れると危険な場所があるためよく注意し、一人では行動しないように心がけていました。また、基本的にほとんどのお店でカードが使えるため、現地通貨は 1 万円ほどで十分でした。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

ワシントン大学を選んだ理由は、授業だけでなくアクティビティも充実していたからです。午前にはネイティブの先生による授業で、コミュニケーションを積極的に取り入れる授業形式であったため楽しく学ぶことができました。発音の練習は毎授業あり、その他には通貨の数え方やアメリカのダジャレを学び、みんなで考えたり、午後のアクティビティに関連した内容で英語を学びました。また、授業内で博物館や図書館、公園に行くフィールドワークもあり、実際に体験してアメリカの文化を学ぶこともできました。午後のアクティビティは、シアトルの主要な観光地を案内してくれました。プログラムに参加している学生みんなで行くため、安全に楽しく観光でき、いい思い出になりました。

私のホームステイ先は家族が多かったのでもともと賑やかでした。そのためコミュニケーションをとる機会が多く、自分からも積極的に英語を使うようにしていました。子供達が話しかけてくれたり、両親もたくさん話しかけてくれるので緊張はすぐに解けました。英語しか使えないという環境で不安もありましたが、温かく迎えていただいたおかげで楽しく過ごすことができました。

ダウンタウンの治安は場所によっては良くないところがあったり、交通機関も完全に安全というわけではなかったのなるべく一人では行動しないことをお勧めします。もちろん大変なこともありましたが、何事にも積極的に、周りをよく見て行動すれば本当に充実した 3 週間を送れると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ワシントン大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	89123 円	
図書費	円	
学用品費	198 円	
携帯・インターネット費	16800 円	
現地通学費	10500 円	(研修先まで 70 分)
教養娯楽費	4648 円	
被服費	9070 円	
雑費	4570 円	
その他	27384 円	例: おみやげ
その他	円	例:
合計	162293 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にない
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本の空港で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
空港でグローバル Wi-Fi というものを借りました。一日300MB 使えるものでしたが、正直言って多くはないです。僕の場合は ahamo というモバイルサービスと契約していたので、最初の15日間は困ることはありませんでした。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
事前学習で言われたものをもっていけば十分。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
常に貴重品がどこにあるか確認するのは大切。特に問題に巻き込まれることはありませんでした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ホームステイ先、学校ともに Wi-Fi には困ることはありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
僕はすごく運が良かったと思っています。なぜなら、ホームステイ先にデンマーク人の留学生が四人いたからです。彼らはとても親切で、英語も僕から見るとほぼネイティブレベルでした。いつも僕の話し相手になってくれて、英語を話すのが楽しかったです。ホームステイ先が楽しいと気持ち的に楽です。もしほかの留学生がいなくても、ホームステイ先の人たちと仲良くなることはすごく大切なことだと思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
僕のクラスは、ジャーナル(日記のようなもの)を英語で書く課題がありましたが、これは自分の語彙や表現を増やすのによい方法だと思います。また思い出の記録にもなります。また、英語でプレゼンテーションをする課題もありました。現地でインタビューをして、それをもとにプレゼンをするというものです。真剣にやればよい経験になると思います。
2) 課外プログラムについて
様々な場所に行けて楽しかったです。ただ、課外活動ではどうしても、みんな日本語で話してしまうので、そこは残念でした。ただ、この留学は楽しむことももちろん大切なので、参加することをお勧めします。英語力を少しでも伸ばしたいのであれば、ガイドの先生と一緒に見て回ったり、友達の中で英語が得意な人と一緒にいたりするのが良いと思います。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
食生活は日本とは違う部分も多いので、おなかの調子が悪くなることもあると思います。整腸剤や便秘薬をもっていくといいかもしれません。また現地でヨーグルトや果物を買うのも良いと思います。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

まず、この研修を選んだ理由は、三月には日本でやりたいことがあったので、二月中で終了するこの研修が最適だったからです。またアメリカには僕のいとこが住んでいるということも一つの理由です。そして、研修で最も重要なのは誰と行動するかだと思います。この研修には日本人がほとんどです。留学前は、「絶対英語力伸ばさず」と生き込んでいたのに、現地で日本語ばかり話して研修が終わったなんてことになりかねません。僕は、最初に一緒に行動していたグループでは英語が伸びないと感じたので、ほかの英語が得意な人たちと一緒に行動することにしました。ただ、もっと良いのはネイティブの人達と一緒にいることです。ぼくは、これをあまり実践できず、日本人といることのほうが多くなってしまいました。この点は次の留学に活かすつもりです。留学の目的は各々違うとは思いますが、留学前に自分が何をしたいのか(目的)を忘れず、かかるお金に見合う三週間にすることが大切です。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ワシントン大学 2023 春季
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	3000 円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	20000 円	
被服費	15000 円	
雑費	70000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	154000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 銀行で交換しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Amazon で sim を購入しました。ホストファミリーなどと連絡したり、現地で使用したりすることがあるので現地の電話番号が利用できるものをお勧めします。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
風邪薬やのど飴、スリッパ、ドライヤー、水筒、ウェットティッシュ。特に環境の変化などで体調を崩す人もいるので薬類は必ず持って行きましょう。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省のサイトやインターネットで調べました。電車やバスではリュックを前に抱えるようにし、車内では寝ないようにしました。また、なるべく二人以上で行動するようにしていました。実際に犯罪に巻き込まれることはなかったですが、ホームレスが多い地域などは少し怖かったです。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学内と家では wifi があるので通信に困ることはなかったです。街でも sim の通信がしっかりと使用できたので問題なかったです。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	私のホームステイ先はとても良く、決められたルールも少なかったです。初日に家の中を案内されるのでその時にルールや注意事項を言われました。挨拶と軽い会話がとても大切だと思います。できれば食事を一緒にとり、その日にあったことなどを話すと会話が弾み、仲良くなるができると思います。ホームステイ先は留学生を受け入れ慣れている家庭がほとんどなので特に困ることはないと思います。困ったことや不安ことがあったら迷わずすぐに相談しましょう。食事もおいしくお米も出たので日本食が恋しくなることはなかったですが、不安であれば味噌汁やカップうどんなどを持って行くといいと思います。洗濯は週に1度でした。洗濯機を自由に使える家庭もあるようですが、ほとんどの家庭が週に1度らしいので、衣服は1週間分以上持って行く心配はないでしょう。私の家庭はシャワーに関するルールはなかったですが、共用部なので綺麗に使用することを心掛けていました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	発音が難しい R と L や th などの発音練習を授業で行うので英語の発音が良くなると感じました。また、アメリカについて気になることをテーマにしたプレゼンテーションを行います。ホームステイファミリーや現地の人に話を伺うので英語でのコミュニケーション力やリスニング力が鍛えられます。
2) 課外プログラムについて	週に2回午後はシアトルの観光名所を巡ります。有名なところは課外プログラムで行くので、その他に行きたい場所は個人で行けばいいと思います。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	シアトルの治安は基本的に良いですが、一部の地域はホームレスが多かったり、路上で大麻を吸っていたりするので近づかないほうがいいと思います。危険な地域はホームステイファミリーが知っているので、登校経路など事前に相談すると良いと思います。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

海外に行くのが初めてで不安だったので、3 週間のこのプログラムにしました。しかし、3週間はあっという間に過ぎてしまい、物足りなさを感じます。初めの 1 週間は分からないことも多く不安に思いますが、2、3週間目は現地の生活にも慣れ楽しく過ごすことができました。慣れてきた頃に帰国することになるので、もう少し長い1か月のプログラムやそれ以上のもののほうが良かったと思っています。しかし、海外の生活がどのようなものなのか知ることはできるので、海外に興味はあるけど長い留学は勇気が出ない人などにはおすすめです。

授業内容はすごく簡単で、自分のクラスでは基礎的な発音から日本では習わない応用的な発音のことまで教えてくれました。他のクラスでは be 動詞のことを学習していたので、内容はクラスごとに少し異なるようです。クラス分けは初日のオリエンテーションで行います。現地の先生と会話をしながら質問に答える形式のテストでした。クラスはほとんどが日本人です。外国の人と一緒に授業を受けるものではありません。私の担任の先生は日本文化に知識があるようで、アメリカと日本の文化の違いを楽しく学ぶことができました。また授業内で街に出かけることも多く、現地を歩きながら学習することができました。プログラムの最後では英語でプレゼンテーションを行います。テーマはアメリカについてであれば自由に決めてよく、3~4人ほどのグループで発表を行います。現地の人

にインタビューしその結果をもとに発表を行います。このインタビューを通してネイティブスピーカーと会話することができるので英語力を鍛える良い機会だと思います。

円安の影響もあり物価は高いです。ペットボトルの水が2ドル(300円)程度です。水筒を持って行くか現地で購入するのがいいと思います。外食も高く、昼食にマックを食べると10ドル(1500円)以上はします。どこで食べても5ドル以上はするので、節約したければパンなどを持って行きましょう。支払は基本クレジットカードでした。カード払い限定のお店もあるので限度額を確かめ2枚ほどあると安心だと思います。現金は100ドルほど使いました。また、100ドル札は使えなかったり、出すと嫌な顔をされたりするので1ドル、5ドル、10ドル、50ドル札を用意するといと思います。

バスや電車は比較的時間帯通りに運行しています。交通費は現地で購入する orca というカードで支払います。最初は10ドルほどチャージしておき、足りなければ追加するようにしましょう。現地では意外と使いません。交通費抑える方法もあるので、現地の文化をしっかりと学びましょう。大切です。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ワシントン大学研修
-----	-----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	主に昼食
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	出国前に sim を購入
現地通学費	12000 円	(研修先まで 80 分) バスの乗り放題券なし
教養娯楽費	15000 円	観光地入場料等
被服費	35000 円	
雑費	5000 円	飲み物代等
その他	30000 円	例: カナダ旅行(交通費、ホテル代)
その他	30000 円	例: お土産代
合計	173000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし ビザの代わりに ESTA を取得
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本にて 150ドル換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
事前に Amazon にて SIM を購入(一か月で20G)
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
折り畳み傘 現地の人はあまり傘をさしていなかったが、雨の日が多かった スリッパ 家の中は土足厳禁で基本スリッパでの行動だった 基本的でないものはホストファミリーが貸してくれた (水筒等) 友達と割り勘することが多かったため、もう少し現金を用意していったほうが良かった

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーから教わった治安の悪い地域や交通機関は利用しないようにした
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

若干重い時もあったが、基本問題なく利用できた

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
主なルール 23:00 までの帰宅、シャワーは 15 分(いつ利用しても OK)、洗濯機、乾燥機の利用自由、土足禁止(基本スリッパ) 自分の家庭はホストファミリーがとてもやさしく、かなり緩いルールの下で自由に過ごすことができました。部屋はホストファミリーの息子の部屋を利用することができ、かなり広かったです。 ただ家が田舎にあったということもあり、家から近くのバスの本数が少なく、出かけるたびにかなり早い時間に家を出ていました。またホストファミリーの仕事の時間が早く、19:00 くらいには就寝し、3:00~4:00 くらいには家を出ていました。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
プレゼンテーション 2、3 人でのほどでのグループが作られ、自分たちで決めたテーマを基に現地の人にインタビューを行い、1 人 3 分、計 10 分ほどでプレゼンテーションを行いました	
2) 課外プログラムについて	
週に 3 回ほど学校終わりにシアトル内の観光地へ行く機会が設けられていました。基本的には現地につき次第自由行動で、参加不参加も自由です。	
3) 滞在先・現地での生活に関すること	
電車、バスの乗り換えに不安を感じている人が多いと思いますが、かなりシンプルですぐ慣れることができます。また、ホームレスの数は多いですが、特定の地域に近づかなければ特に治安も悪くなく、安心して過ごすことができました。ただ円安や物価の高さの都合で、どの商品も日本の 2、3 倍くらいし、お金の使い方には注意が必要です。	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

<p>この研修を選んだ理由は、自分たちの自由に行動できる時間がとりやすく、いろいろな経験をすることができるのではないかと考えたからです。実際に平日は午後から自由な時間をとることができ、シアトル内の観光やワシントン大学でのバスケットボールの試合観戦、休日にはスポーツバーにてスーパーボウルの試合観戦やカナダ旅行など、たくさんの濃い体験をすることができました。また午前中に行われる授業でもフィールドワークやそこでのインタビューなど実際に活動するものが多く、今までの自分より積極的に行動する力がついたと感じます。</p> <p>おそらく多くの人が現地の交通機関や治安、うまくコミュニケーションをとれるかなどに対して不安を感じていると思います。自分も最初このような不安がありました。実際に行ってみるとどれも杞憂に過ぎなかったと断言できます。交通機関に関しては調べたバス停に行き指定された番号のバスに乗るだけであり、治安も特定の地域に近づかなければ特に問題なく生活することができました。(自分が落とし物をしたときにわざわざ届けてくれるほどでした。いい人が多いです。)コミュニケーションに関しても、文法がきちんとしていなくても相手がかみ取ってくれ、ホストファミリーはわかりやすいようにゆっくり話してくれました。基本的に意思伝達ができなかった場面は少ないと思います。</p> <p>様々な場所へ行き、多くの人と関わり、たくさんのことを経験することができ、最終的には「もっといたい」とさえ感じました。先ほど挙げた理由で行くことを迷っている人はぜひ参加してみてください。きっといい経験ができると思います。</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ワシントン大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	21109 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	13000 円	eSIMを購入
現地通学費	9516 円	(研修先まで 40分)
教養娯楽費	2519 円	航空博物館入場料
被服費	50278 円	
雑費	17585 円	お土産
その他	5425 円	例:食品のお土産代
その他	40000 円	例:カナダ旅行費
合計	159504 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
trifa というアプリを使用して eSIM を購入した。30 ギガ購入してしまったが、ホームステイ先や学校に Wi-Fi があったため、15 ギガくらいしか使わなかった。カナダ旅行時は同様に eSIM を購入した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
薬。環境の変化から風邪を引きやすいため、あったほうがいい。 カッパ。現地の人とは傘を差さないのが暖かいカッパで雨をしのぐのがいいと思った。 スリッパ。家の中でも飛行機の中でも使うことができる。これは必ずと言っていいほどあったほうがいい。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
危険地域は学校の先生に聞いた。貴重品はリュックと別で小さいショルダーバックで前にかけるようにした。学校の近くが一番ホームレスなどが多く危険地帯と言われたが、目を合わせないように現地の人のように堂々と歩けば話しかけられたりついてこられることはないの、あまり怖いとは思わなかった。逆に怖いと思っておどおどするとついてこられたりすると思う。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に異常なし

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
私のホームステイ先はとても環境がよく、お風呂の時間制限や電気消費制限は特に何もなかった。タオル、歯ブラシ、シャンプー、などすべて用意してくれてとても親切だった。休日はショッピングセンターやコストコなど様々な場所に連れてってくれた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
スラングについて学ぶこと。実際にお店に行ったり、インタビューしたりしたときに授業で学んだスラングをたくさん耳にした。
2) 課外プログラムについて
現地大学生の方が毎回 4.5 人ついてくれていたのでなるべく友達と学生の近くに行って話しかけるようにしていた。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
滞在先の環境がとてもよかったため特に困ったことはなかった。通学に関しても日本より交通が簡単なので特に困ることはなかった。学校の立地もダウンタウンのど真ん中に位置していたため、午後予定のない日はいろいろなところに遊びに行くのに便利だった。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

<p>この研修は他の研修よりも自由時間が多いため自分で自由に生きたいところにたくさん行くことができると思った。また、アメリカの文化にとっても興味があったためワシントン大学を選んだ。</p> <p>大学の授業は午後だけではなく、午前中の授業でも校外学習に行くことがありとても充実していた。学校のクラスはほとんどのクラスメイトが日本人だったため、日本語を話してしまうことが多かったが、日本以外の国の人と英語で話すことが多く仲良くなったので、その点が英語を上達させるうえでよかったと思う。</p> <p>また自分はショッピングをするのがとても好きなので、洋服などをたくさん買ったが、服に限らずだが円安だったためとても高かった。服にお金を使ったかったため、昼ご飯はなるべく家から持参するようにした。</p> <p>研修期間中にアメリカで年に一度の大イベントであるスーパーボウルがあったのでそれを見ることでアメリカの文化を体験することができた。日本と大きく違う文化がたくさんあったためそれらをたくさん体験することができてよかった。</p> <p>私のホームステイ先がとても良い環境だったため本当に満足な 3 週間を過ごすことができた。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ワシントン大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	円	
現地通学費	円	(研修先まで 45-60 分)
教養娯楽費	円	
被服費	円	
雑費	円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港の換金所 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
グローバル Wi-Fi をしようした。1日600メガバイトのにしたが、正直足りないことが多々あった。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
英語の勉強

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
バス、電車では寝ない
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学、ホームステイ先にあったが、ホームステイの方は接続があまり良くなかった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	他の留学生もいる。日本人がいるところやほかの海外の国の人など多様である。基本ホストファミリーとは離れて生活しているが、朝、夕食の時間など交流の時間を設けてくれる。自分から積極的に話しかけていった方がいい。現在髪型がアフロだが、そのおかげでたくさんの人に道端で声を掛けられるので外見で一つ目を引くものがあるとよりフレンドリーに接してくれる。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	日本語を話したら罰則があったのでみんな意地でも日本語を話さなくなる。
2) 課外プログラムについて	複数のグループに分かれる。基本自由行動であり、集合時間だけが定められている。かなり歩き回るので体調管理は気を付ける。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	シアトルのダウンタウンは結構治安が悪い。しかし、大学周りやホストファミリーの周りは治安はいい。物価高すぎ。貯金していくべし。晴れの日がほとんどといっていいほどない。現地の人は傘を全く差さないが、持っていくと便利。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

単純に英語を話せて、聞けるようになりたかったので、この研修に参加した。この研修はほかの研修に比べて、すべてが授業というわけではなく、フィールドワークもあり、楽しみつつ英語を学べると感じた。日本人が多いプログラムなので、日本語を話しすぎてしまうのが懸念点である。基本の生活は、キャッシュレスであり、現金はほとんど使う機会がない。事前の情報と良くも悪くも違う部分があるので注意。物価が高いので、貯金をしていかないと完全に積むのでお財布の中身も参加理由の1つとして考慮した方がよいと感じた。自分は特にチップの文化の理解に苦しんだので事前の知識としてアメリカの文化を勉強していった方がよいと思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ワシントン大学 2023 春季
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	16800 円	
現地通学費	12000 円	(研修先まで 25 分)
教養娯楽費	20000 円	
被服費	13000 円	
雑費	円	
その他	33000 円	例: お土産
その他	円	例:
合計	134800 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にない
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
グローバル Wi-Fi を申し込んだ
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
家で履くサンダル お土産を入れるバッグや日本食をもっと持っていけば良かった。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーや友達に聞いた。 特に犯罪などには巻き込まれなかった。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校とステイ先に Wi-Fi があり、利用した。
Wi-Fi の容量が少なかったため、休日や平日の午後は低速になりやすかった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	初日にハウスルールを聞いたり、ご飯がいらぬ時は事前に伝えたりするなどコミュニケーションをしっかり取れば問題なく過ごせると思う。休日に一緒にスーパーで買い物をしたり、ご飯の時間に様々な話を聞いたりして楽しかった。バレンタインデーの日にチョコを貰ったことが嬉しかった。自分が伝えたいことを英語で伝えるのが思ったよりも難しかったため、もっと勉強して行けば良かった。また、積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢や笑顔が大事だと感じた。ごみの分別もホストマザーに聞いてやったため、問題なかった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	教室で日本語を話す罰ゲームがあったため、休み時間も英語で会話できたのは良かった。グループワークやペア活動が多く、クラスの皆と仲良くなれた。
2) 課外プログラムについて	シアトルの有名な場所に行った。どの場所も楽しかった。インストラクターの方が連れて行ってくれるため安心だった。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	水が硬水で自分には合わなかったため、スーパーで水を購入していた。ホームレスやドラッグをやっている人が多く、治安が特に悪いところは一人で歩かないようにした。物価がとても高い。お店が閉まるのも早い。店員さんは皆優しくかった。行きたいところは事前に調べて予約していたため、色々なところに行けた。5 か所の有名スポットに行けるシティパスを買ったらとてもお得だった。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

午前が授業で午後がアクティビティで勉強だけでなく、アメリカの観光もしたかったこと、ホームステイをしたかったことなどがこのプログラムを選んだ理由です。海外に行ったことがなかったため、見るものすべてが新鮮でアメリカの良さや、日本の快適さを改めて感じることができました。また、自分の英語がどこまで通用するのかを知ることが出来ました。このプログラムを通じて、もっと英語を話せるようになりたいと思いました。毎日授業の後に友達とシアトル観光をして満喫できました。The Cheesecake Factory と IHOP というお店は量が多くて食べきれないくらいだったけどとても美味しかったです。Amazon や Boeing など有名な会社の見学にも行けたので勉強になりました。生活面では日本と全く違うことが多く、不便なことや苦労することもありましたが、ホストマザーだけでなく、別の留学生の子とも仲良くなれたので良かったです。スーパーは Target という所をよく利用していて食品だけでなく衣類や生活用品も多く売っているため便利でした。電車やバスの仕組みも日本と違い、面白かったです。初めての海外で行く前は凄く不安なことが多くあったけれど行ってみると非常に楽しく、このプログラムに参加して本当に良かったと思いました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ワシントン大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	27000 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	5980 円	Sim カード
現地通学費	15000 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	2100 円	
被服費	6000 円	
雑費	円	
その他	32000 円	例: お土産代
その他	円	例:
合計	88080 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ビザ申請等は個人でやる必要のないプログラムのため特記することは無し。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 事前に日本にいる間に 30000 円をドルに換金しておいた。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM カード(物理)を事前にネットで購入。 電話番号付きのを選びましたが、現地の電話番号はあった方が便利ですのでオススメ。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
雨が多いので折りたたみ傘は非常に助かった。現地の方はフードしかつかわれないのでせつかくなので真似てもよいかと。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
まずは、当プログラムの事前の説明会。現地では現地学生やホストファミリーに聞いた。 実際に暴力事件や盗難にはあいませんでしたが、ダウンタウンでは日常茶飯事なのである程度心構えが必要。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

問題ありません。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
特に不満もなかったのですが、周りの話を聞いてもシャワータイムのルールが厳しい家庭が多いので多少不満ではあった。(22 時までには終わる等)

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
全体を通しては、授業中はほとんど英語のみでの会話を強いられるので英語をはなさなければいけない環境ですので恥ずかしさなどは感じずに英語にトライできる良い環境だと思う。 また、私のクラスの先生は日本に滞在経験のある方だったので日本人が英語で苦戦するポイントを把握してくれていたのがかなり助かった。
2) 課外プログラムについて
有名な観光地に連れていってもらえるが、シアトルの大体の名所はこれでいける。また、観光地で現地の方にインタビューをする機会があったが交流としても英語学習としてもとても良い経験となった。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
ホストファミリーによって家での生活がかなり異なってくると思うのでよく最初に確認すること、また途中で疑問ができれば都度聞くことは大事だと感じた。また、暗くなってからダウンタウンや路地を一人で歩くのは現地の方でも怖く感じるレベルなのでなるべく一人にならないように、かつはやめに帰宅することは念頭においたほうがよい。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この研修を選んだ理由としては、ワシントン大学での生活への憧れとアメリカ文化への理解を深めたいと考えたから。肝心の授業ではワシントン大学キャンパスでの生活を想像していたが、かなり離れたただのビルでの学びだったため正直騙された感がある。シアトルはこの時期、雨や曇りといった天候が多くまた多くのスポーツがオフシーズンであるのでそこも注意が必要。ただ、それでもシアトルを満喫するには 3 週間でも少し足りないくらいだった。ワシントン大学のバスケや、年に一度のスーパーボウルはとても面白かったのでオススメ。英語に関していえば、現地では向上するのももちろん大事だが、現地に行くまでにある程度自分で練習しておくことでこの研修を有意義なものにできるだろう。正直、3 週間は留学の中ではかなり短い部類になると思うので、この 3 週間でペラペラになるなどと考えるよりもっと長いスパンで考えて、その中の一つのイベントとして捉えたほうがよいと思う。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ワシントン大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	45000 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	5380 円	
現地通学費	12000 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	11625 円	
被服費	11500 円	
雑費	円	
その他	23500 円	例: お土産
その他	円	例:
合計	109005 円	1ドル=150円で計算

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM カードを購入した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
カイロ、ファブリーズ、スリッパ、インスタントの味噌汁は持って行ってよかった。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーから危険な場所や時間帯を聞き、情報を収集した。スマートフォンや財布を常に首から下げて防犯対策をした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ホームステイ先、学校どちらも Wi-Fi の接続は良かった。街の中ではたまにつながりにくいところもある。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	<p>ホストファミリーが多く、他の留学生もホームステイしていたのでとても賑やかで楽しい環境だった。一緒に映画を見たり、ゲームをしたりしてくれてとても優しかった。家のルールも特になく、快適だった。しかし、週末は忙しいからかどこかに連れて行ってくれることはなかったので、その留学生の子たちと遊びに行ったりした。</p> <p>ホストファミリーとたくさんコミュニケーションを取りたい人は、自分からガツガツ話にいった方がいいと思います。</p>

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	授業はディスカッションや発言を求められる機会が多く、日本語を使うことが禁止だったので、積極的に英語を話す力が身についた。また、プレゼンのために行った現地の人へのインタビューはたくさんの文化に触れあえる貴重な経験だった。
2) 課外プログラムについて	シアトルの様々な観光地に行けてとても楽しかった。引率の先生もいたので安心して行動できた。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	私のホームステイ先は都市部から離れていたため治安は比較的良かったが、ダウンタウン等の都市部に行くとホームレスや薬物中毒者がいる。ホームレスがたまりやすい道路やバスは避けて行動するようにした。シアトルは雨や曇りの日が多いので雨具は必須。物価高に加えチップの文化があるので外食は高くつく。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この研修は、他の研修と比べて自由時間が多く、ホームステイであることから、英語のスキルアップだけではなく観光や異文化体験を求めている人におすすめ。最初の数日は、現地のネイティブスピーカーの言っていることがまったく聞き取れなかったり、異国の食べ物を口にすることや他人の家に住むことによる環境の変化がストレスとなり、体調を崩してしまうことがあったり、本当にやっていけるか不安になった。しかし、日がたつにつれ生活に慣れていき、ストレスもだんだんと少なくなり楽しめるようになった。3週間で急激に英語が上達することはなかったが、確実に英語で会話することへの抵抗感はなくなったと思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ワシントン大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	39000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5000 円	事前に esim を購入
現地通学費	12000 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	30000 円	
被服費	28000 円	
雑費	0 円	
その他	25000 円	例: お土産
その他	円	例:
合計	139000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 当日に空港で用意 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
事前にアマゾンで esim を購入
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
体調を崩したので薬類は持って行って良かった。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前のオリエンテーションをよく聞き防犯対策。 犯罪には巻き込まれなかった。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

全く問題なかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
非常に快適であった。 友達から聞くと、各家庭で様々な形態があることがわかった。 ホストファミリーとトラブルを起こしている人はいなかった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
授業中の発言や、先生や生徒同士での対話が多く、たくさんアウトプットできたのは良かった。 映画鑑賞などを通じて、現地のスラングや、日本では習わない慣用表現を学ぶことができ興味深かった。
2) 課外プログラムについて
非常に充実していた。 毎週火曜と木曜はシアトルを案内してくれて、楽しく観光することができた。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
火曜、木曜以外の午後は自分たちで計画してシアトルを観光した。 3週間で十分シアトルを満喫できたと感じた。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私がこの研修先を選んだ理由は、漠然とアメリカに行きたかったからである。また、ホームステイを通じて現地の人々の生活を体験してみたかったからである。加えて、自由時間が多く、海外旅行としても楽しめそうであったからである。後輩学生へのアドバイスとしては、授業面では、積極的に発言し、失敗を恐れずに学び続けることが大切である。また、周囲の人々とコミュニケーションを大切に、協力して成長する姿勢を持つことも重要である。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ワシントン大学
-----	---------

※自分の留学のお話が今後の皆さんの参考の一助となれば幸いです。沢山書いたのでは是非参考にして下さい。

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	60000 円	基本、全てが高い。日本の倍かかると思ってよい。シアトル市内で食事を済ませようとするなら昼飯だけで最低でも10ドル以上は絶対する
図書費	0 円	
学用品費	200 円	最上位クラスは大学のマートでノート(日記みたいなもの)を購入させられる。
携帯・インターネット費	8000 円	私はeSIMを購入した。携帯型のWiFi(有名なものとグローバルWiFi)は相対的に高いのでおすすめしない。eSIMは利用して正解だった。
現地通学費	5000 円	私のホームステイ先は片道一時間かかり、学校へはバスを利用した。オルカカード(日本でいうスイカやPASMO)を購入し、基本バスや電車などに乗車出来る。公共交通機関の値段は安い。しかし、訪問すれば分かるが無賃乗車の現地の方をとて多く発見し、運転士も黙認しているのが現状
教養娯楽費	20000 円	観光地を回るだけでも、それなりの費用がかかると思った方がよい。私は本当に色々なところを回った。とても面白かった。ただ事前にネット割引や学割など工夫すれば安くすむこともあるので参考に。
被服費	10000 円	ワシントン大学のメインキャンパスから少し歩いたところに、大学のショップがある。そこで限定品を購入できるが、かなり洋服の種類は豊富で学生は割引も利用でき、何個か購入した。
雑費	10000 円	お土産(スタバなど)
その他	40000 円	カナダ・バンクーバー訪問(後述)
その他	70000 円	アメリカ・サンフランシスコ訪問(後述)
合計	約 220000 円	色々他の都市にまで出向いたので費用は高かったです

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

大学の提携会社が基本やって下さるので、特に困ったことはない。
自分はとても助かったし、海外初心者の方は安心出来るはず。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 親から古いドル札を貰い、現地で使った。(現金はあまり持っていくと余るので、少しでよいと思う)

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIMカード、WiFi)はどのように準備しましたか

ホームステイ先ではWiFiが利用でき、大学のキャンパスでは大学の回線が使えるので不自由ないが、外を出たときにSIMの話がキーになる。私はeSIMの購入を薦める。アマゾンで注文し印刷されたQRコードをスマホで読み取るだけでとても便利で、しかも安い。市内では基本回線に困ることはなかった。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

スリッパは必須。日本と違い土足で玄関に上がるので自分の部屋でスリッパがないと困る。結局、私はシアトル市内のユニクロのスリッパを購入した。準備した方が良いのは細かく言えばキリがないが、放課後の過ごし方を日本で考えておくべき。現地に到着してから考えたりすると、せっかくアメリカにいるのに時間の無駄であり、大まかでもいいのでどういう週末を過ごしたいか考えておくとうい。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（問題の内容や相談した人等： ） 特記事項：
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
ダウンタウンなどの市街には必ずホームレスや薬物乱用者、大声を出している人が昼夜問わずいるので要注意。私はこれまで何回か海外に行ったことがあったので恐怖はなかったが初めての人は戸惑うと思う。話しかけられてもスルーすること。市内のストリートはどこが治安が悪いのかネットで調べればすぐ出るので参考に。また、貴重品なども常に手元に持っておくのを薦める。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 （例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）
基本不自由なかった記憶があるので問題なかった。

滞在形態関連
1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>私のホームステイ先はパキスタン系のご高齢のホストマザーと自分と同じアジアから来たホームステイをしている3人構成だった。しかし正直言って私のホームステイ先は、あまり自分の思い描いたのと違い、どちらかと言えば、失礼ではあるがはずれだった。主に理由は3つ。一つ目は通学先まで一時間弱バスで毎日かかることだ。市内に行くにも一苦労。ましてや自分の利用していたバスは市内のバス路線の中でも治安やマナーが悪い方でストレスだった。バスの本数こそは多いものの毎日大変だった。そして二つ目は食事である。初日に自分の好みを聞かれ期待してはいたが、お世辞にも質素なものしか出されず美味しいとは思えなかった。朝食もオートミールだけなどレパートリーが少なく辛かったので、自分で買い込むなり工夫した。3 つ目は、あまり会話がホームステイ先で楽しめなかったことだ。ホストマザーは平日仕事をしているので帰宅が遅く、帰ると自分一人で冷蔵庫から食事を取り出し温めるといふ悲しい日もあった。朝食も自分の部屋でパソコンをとり、会話が楽しめず、ややビジネスでホームステイを運営している感否めない一面もあった。自分からコミュニケーションをとれば反応はしてくれて一方で、こちらから話しかけなければ何も無いといった感じだった。ただ同じルームメイトの人と意気投合し、楽しい日を彼のお陰で過ごせた。</p> <p>ホームステイ先は十人十色であり、私は友達のホストファミリーの話を知ると羨ましいと感じた時もあったが、途中から外出が増え、ホストファミリーと関わらず、外出先がかなり充実していたので、結果として不満はあまりないが、良いホストファミリーに恵まれたらもっとより良い経験になったと思う。どこのホストファミリーに配属されても自分の意志は英語で言えるようにはなっておくべき。</p>

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
<p>授業の初日に軽いスピーキングテストを行い、結果を基にクラス分けがなされ、三週間の授業が始まる。どの先生も親切、丁寧で生の英語を体験できる。しかし授業数は少なく三週間という期間で英語力を格段に上げるには、この授業に出席するだけでは残念ながら厳しいと言える。いかに授業以外で自分からプログラムを充実させられるかが鍵となる。それは前置きとして心得て欲しい。自分は上位クラスで最後まで意欲的に取り組んだことで、割と自分の英語力がどこまで通用するのか認識することができた。そのおかげで自分のどの分野が弱いかなど見直すいい機会となった。英語のプレゼンや現地の人へのインタビューはどれも貴重な体験で、英語を話す楽しさも再認識できた。また宿題で日記みたいのを提出し先生がリアクションをくれるが大変嬉しかった。</p>
2) 課外プログラムについて
<p>午後のアクティビティでは主にワシントン大学の現役の学生がシアトル市内を案内してくれる。英語も現役の学生と楽しめて、市内の観光も楽しめる良い課外プログラムだったと思う。費用も授業料に含まれているのでかからない、参加も任意だがほとんどの学生は出かけていた。普段の英語授業でも公園やスタバの特別店にクラスメイトで行くなど市内観光は楽しめた</p>
3) 滞在先・現地での生活に関すること
下記参照のこと

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

こんにちは。私は今回の春季ワシントン大学のプログラムに参加できて本当に充実した日々を過ごすことができ、一回り人として成長出来た気がします。是非これから書くものも参考に、色々な留学先の候補からワシントン大学を選んで欲しいと思います。

<総論・授業について>

英語力は初心者から上級者クラスまで幅広く対応しており、それに見合う授業内容も用意されており、**どのレベルでも満足のいくものではないかと感じる**。しかし、**英語に特化した留学を期待する方には他のプログラムに参加する方が良いかもしれない**。授業内容やそれ以外でも先生に話しかけ、とにかく積極的に動けるかが英語力をどれくらい上げられるかに直結すると思う。クラス編成はどこのクラスも20人もいない少人数方式。日本人が8.9割でどうしても日本語を話したくなってしまいが、そこは我慢し私のクラスでは英語のみで三週間すごした。集まる日本人の学生のレベルも高く、明大以外では早稲田や名古屋大学の方が来ており、沢山刺激を貰えた。英語のクラスで仲良くなり一緒に観光するというのもよくあった。お互い情報共有をし合うことで充実した留学生活を行った。日本人以外ではペルーや韓国から来ている方もいた。授業はダウンタウンのサテライトキャンパスでシアトル市内のど真ん中で行われる。昼食はよく港のバイクプレイスマーケットで海を見ながらランチを楽しんでいた。

<総論・授業外について>

このワシントン大学のプログラムで大きな魅力は午前中のみしか授業がないということだ。なので、午後のアクティビティは自分で考え行動する事ができる。繰り返しになるが、**授業以外の暮らしがこのプログラムでは楽しさの明暗を分ける**と言っても良いので、自分が何をやりたいのかを調べて英語学習以外でも現地の文化に触れ、学び、多くのことを吸収して、このプログラムに参加する学生にとって実りある留学体験になってほしい。正直勉強よりこれが一番大事だと思う。短期留学で英語力を向上させるには長期に比べれば劣るが経験値を沢山積むというのに焦点をあてれば、この留学はとても魅力的であると感じる。実際、私は参加出来て良かった。

シアトルは自然豊かで公園が沢山あり海まで行けば絶景を味わえる。ウーバーのキックボードで市内を走れるのはかなり爽快だったのでいい思い出。バスケの試合も大学構内で観戦できた。ボーイング社(航空業界大手)の見学は日本では体験できないので強くおすすめする。食事の話だがここシアトルは本当に高い。水を買うだけでも3ドルするので上手く節約して生活しないと金銭感覚がおかしくなるので注意。チップもクレジットカード支払いなら料金を勝手に含まれることもあったが、少額の買い物ならチップは要らないと感じる。そして想像以上にキャッシュレス社会であり、クレジットカードだけで事が足りてしまうので大量の現金の持ち込みは絶対おすすめしない。お店によったら現金が使えないお店まである。換金所は空港ではなくダウンタウンの利用を薦める。

また、シアトルはかなり立地が良いのでシアトルを離れ私はカナダのバンクーバーとアメリカのサンフランシスコまで週末は旅に出た。どれも最高だった。私はかなりアクティブに行動したが、自分以外でも他の都市に出かけている人もいて、その友人から話を聞くのはとても面白かった。シアトル市内の観光は正直2、3日で見終わると思う。晴れた日はフェリーで海に出ると気持ちが良いのでおすすめ。大学の図書館は自由に利用できる所以我はよく雨の日は電車でメインキャンパスまで行き利用した。ワシントン大学のメインキャンパスの雰囲気は非常に気に入った。

<週末の過ごし方・バンクーバー編>

私はシアトルからバンクーバーまで電車(Amtrak)で3時間かけて行った。自分のクラスメイトもかなり週末はバンクーバーに行っていた印象。電車を選んだのは大正解で海岸すれすれの線路永遠に走るので絶景だった。バンクーバーはさほどシアトルと街並みは遜色ないが自然がとにかく豊かで感動した。冬ということもあり、ビクトリアまで行くか迷ったがウィンタースポーツを楽しみたくてスキー場へ行き、レンタルして楽しんだ。市内からバスで一時間かからない場所にスキー場がいくつかあり、何も用意していない状況でも楽しめる。頂上からの眺めは言葉が失うくらいであり素晴らしかった。リフトに乗っている時やレストランにいる時もカナダ人と沢山喋り、とても良い経験が出来た。カナダ人は総じて優しい人が多かった印象。二日しか滞在できなかったのが悔しいくらいだった。例えば、使用する英語もCity center(市役所)がCiter centreとスペルも違って、会話でも若干なまりがある。

<週末の過ごし方・サンフランシスコ編>

この留学経験で一番の思い出。シアトルから1000km離れているサンフランシスコだが私はこれも電車(Amtrak)で行った。学割も使い100ドルしなかった。寝台車でもあるCoast Starlightに乗車。日本と桁違いの車両設計でラウンジ席も用意しており、ゆっくりと走る車窓からは現地のアメリカ人の生活を沢山垣間見ることができた。この電車の旅は23時間以上かかり通常ふつうの人は、飛行機一択だとは思いますが、私はそのゆったりとした電車の中で沢山アメリカ人や観光客と英語を使い話すことができた。そこで仲良くなった方と帰際にはお別れする時はとても感慨深かった。寝台車はサンフランシスコ市内へは直通はしておらず、近くのオークランド駅からフェリーを使いサンフランシスコ市内に出向いたが、同じ港町のシアトルでも、こんなに違うのかと思うくらい素晴らしい街だった。ヨーロッパ風の可愛い街並みや、とても有名な赤い立派な橋であるゴールデンゲートブリッジにも自転車を借りて観光しまくった。天気にも恵まれ本当に良い思い出であった。

ぜひ留学を通じて新たな自分を見つけて下さい。応援しています。

<備考: 渡航先の写真(上からシアトル市内、大学の様子、バンクーバー、サンフランシスコ)>

